

チャレクジ



なんばー
NO.46 2023.1

はっこうしゃ
発行者

とくていひ えいりかつどうほうじん

特定非営利活動法人 チャレンジド ステーション クジラ

あきしましまつばらちよう

196-0003 昭島市松原町3-6-7 アートヒルズ 105

TEL/FAX 042-569-6433

Email shurou-kujira@9jira.com URL http://www.9jira.com



しんねん

新年あけましておめでとうございます

2023



こんねん ど あたら しゅうにん もとき え み こ もう ねが もう あ
今年度より新しく就任いたしました元木絵美子と申します。よろしくお願い申し上げます。

みなさま すこ しんしゅん むか よろこ もう あ
皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ひごろ かんけいしゃ みなさま りようしゃさま かぞくさま ちいき みなさま あたた しえん きょうりよく
日頃よりご関係者の皆様、ご利用者様、ご家族様ならびに地域の皆様から温かいご支援とご協力を
たまわ ぶじ しんしゅん むか ころ おんれいもう あ
賜り無事に新春を迎えることができたことを心より御礼申し上げます。

ねん いぜん しんがた かんせんしやう りゆうこう つづ あら へんい かぶ しゅつ
2023年は依然として新型コロナウイルス感染症の流行が続いております。新たな変異株が出
げん じたい しゅうそく む じんりよく かがたがた ふか けい い かんしゃ もう あ
現するなど事態の収束に向け尽力されているすべての方々に深い敬意と感謝を申し上げます。

か ひと いどうじたい ほんめん たいめん あ たいせつ あらた
そのようなコロナ禍の中で人の移動自体がリスクとなった反面、対面で会うことの大切さも改め
みなお すす なか ぶそく かだい
て見直されました。リモートワークが進む中でコミュニケーション不足が課題となっているといま
す。クジラでもどのようにすれば支援が途切れない形にできるか模索した一年でもありました。まだ
さきゆ ふとうめい じょうたい すこ お あ にちじよう もど せつ
まだ先行きが不透明な状態ではありますが、少しずつ折り合いをつけながら、日常が戻ることを切
ねが ねん みなさま さちおお いちねん ころ きねんもう あ
に願っています。2023年が皆様にとって、幸多い一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。
ほんねん ねが もう あ
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ちよう もとき え み こ
センター長 元木絵美子

イベント

昭島市特別支援学級親の会

ねん がつ にち あきしましほけんふくし ちよう もとき あきしまし とくべつしえんがつきゆうおや
2022年12月13日 昭島市保健福祉センターあいばくにて、センター長の元木が昭島市特別支援学級親
の会のイベントにお招きいただきました。小中学生の保護者様に直接お話を聞く貴重な機会をいただき、
ご参加いただきました親の会の皆様には心より感謝申し上げます。

ざだんかい しゅうろうしえん こと おこな しつぎおうとう てちようしゅとく う む
座談会では「就労支援センターはどのような事を行っているか」、質疑応答では「手帳取得の有無につい
て」「障害者枠での就職はどうなっているのか」など、ご質問の内容は多岐にわたりました。お話を聞中
で、保護者の方は一昔前よりも情報が多かった分、選択に迫られ悩みも増えているのではないかと感じ
ました。

しゅうろうしえん ちいき かた しゅうろうしえん きぼう ようぼう
就労支援センターとしては、地域の方の就労支援へのご希望やご要望
う しごと こま そうだん ぼしよ にんち
をお受けし「仕事で困ったときは相談する場所がある」と認知していただ
くことで、皆様の傍らに存在でありたいと思っております。今回の
きかい いみ たいせつ きかい
機会はそういった意味でもとても大切な機会となりました。





彼がお休みの日は困っちゃう!!

介護科科长 佐々木尚之
事務課課長 鶴岡幸代

形山君が入職してアッという間に丸6年が経過しました。結論から言うと必要不可欠なとても大事なメンバーです。入職当初、指導でも気を付けていたことがありました。特に、①挨拶や返事の大切さと必要性②作業は1つ1つ丁寧に確実に③終わる都度の報告、この3点と高齢者や認知症のある方への接し方・直接介助の禁止事項についても繰り返し説明しました。

仕事を進めていくと、次第に本人や他スタッフから困っている内容が露わになってきました。そこで「何でもいいので自分の思いや感想をノートに書いてみよう」ということで、毎日交換ノートを実施することになりました。今では7冊目になっています。仕事内容よりもお互いの趣味であるプロ野球（彼は横浜ファン、僕は広島ファン）の話題で盛り上がったことが多々ありました（笑）。また、ノートでは伝えられないことやコミュニケーションを取る目的で、毎月1回事務課長と定例面談を実施しました。その中で毎月の目標を自分自身で設定し、その目標を確実に達成していくことで成功体験を経験したように思います。そしてなぜ達成できたのかも自分自身で考えて言葉で伝えられるようにしていきました。

入職当時は、目を見て話をすることや文章を書くことが苦手だったのですが、「継続は力なり」の言葉通り今では適度に視線を合わせることや、起承転結のある文章を書くことができるようになりました。

また、介護初任者研修を3年前に修了し、現在では入浴室での着脱介助や送迎を行っています。利用者様からは抵抗なく受け入れてもらい「いつもありがとうね」と声をかけられて「いいえ、何よりです」と嬉しそうに答えていました。その表情は今でもはっきり覚えています。

当たり前ですが、みんなそれぞれ仕事のスピードや理解力・悩み事も全く違います。毎日の交換日記だけでは知り得ない気持ちを面談や就労支援、ご家族のお力を借りて多角的な視点を持ちながら調整、支援をしていく大切さと難しさを感じています。

誰かと比較するのではなく、どれだけ出来るようになったのか、仕事に自信を持つことが出来るようになったのかがとても大事だと思います。障害への

理解は大切ですが、それ以前に個人を理解し、施設全体が「必要としている仲間」

であることを言葉で表現することが重要であると感じています。

形山君は遅刻、早退、無断欠勤もなく気持ちも安定して仕事に取り組んでいますが、定期的にクジラの松本さんは施設に足を運び状況を把握してくれます。形山君の成長をみんなで喜び見守り応援出来る事が私たちの楽しみでもあります。



利用者さんから

かたやま のぶ や
形山 暢哉



僕は、社会福祉法人白十字会介護老人保健施設東京ばんなん白光園で働いています。

今年で7年目になります

1年目はオムツ補充やシーツ交換、ドライヤーかけのお仕事でした

シーツ交換やドライヤーかけは学校の授業でもやっていたので、少し自信がありましたがドライヤーかけでは襟足や耳の後ろの乾かし方が足りず何度も科長から指摘をうけました。でも今は後輩にかけ方の指導が出来るようになりました。

また利用者様に話かけられた時にはなんと返事をしたら良いか分からず話す事も苦手だった為に関わり方が難しい所もありました。

2年目になっても上手く関われずにいてどうしたら良いのかと考える日々が続きました。ですが、科長が話を聞いてくれたり、毎日書いている交換ノートで分からない事などを書くと返事を書いてくれたりしていたので、やり方の工夫などをして少しずつではありますが上手に出来るようになっていきました。

3年目になり学生の時とは毎朝起こされていたのに、社会人になって一人で起きれるようになり職場での初任者研修にも合格をして今では入浴介助での着脱介助や車イスを使っている利用者様の介助も行っています。

今、同じ学校から2人の後輩が入職して一緒に働き時々指導をしています。その際自分自身が心がけている事は「優しく詳しく言葉かけをする」です。後輩も少しずつ報連相が出来るようになり成長を嬉しく思っています。

丸6年働いて思う事は最初は関わりも上手く出来ず続けて行けるのかと思いましたが職員の方が優しく教えてくれたり、科長からアドバイスなどを貰ってここまでやってこられました。ここまで続けられたのは職員や科長のおかげだと思います。次の目標としては、正職員になって出来る事を増やしていきたいと思っているのでその為に頑張っていきたいです。

コラムによせて 形山さんと企業様が育んだ時間は、お互いが安心して過ごせるよう歩んだ6年間でした。

勤務の終わりに形山さんが交換ノートに書かれ、企業様がその日に不安や疑問に伝えてくださることで、翌朝には疑問が解消されて作業をスタートすることが出来ています。これからも応援しています。

ナイトサポート・ホリデーサポートのお知らせ

会社の帰りや休日に気軽に相談できる面談を行っています。予約制ですので必ず電話で予約をしてからご来所ください。(Tel 042-569-6433 まで)

ナイトサポート (17:15 ~21:00)	ホリデーサポート (10:00 ~16:00)
1月13日 金曜日	1月15日 日曜日
2月10日 金曜日	2月19日 日曜日
3月10日 金曜日	3月19日 日曜日
4月はありません	
5月12日 金曜日	5月21日 日曜日

かのうただし しょうがいしゃこようけんぶんろく 加納 正 障害者雇用見聞録

新年を迎えて過去を振り返り、新たな決意を持たれた方は多いと思う。
過去を振り返り、「歴史を学ぶ」ことは、原点回帰と課題(あるべき目標と現実のギャップ)
把握をする作業ではないか。2022年 ○○周年記念、事業から……。

《100周年》

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と1922年3月3日で、部落差別の根絶をめざし、全国水平社が創設、宣言がなされた日である。日本で初めての人権宣言であると言われ、社会のあらゆる人権問題克服の原点となった。今なお差別や偏見に苦しみ、憎悪や分断に心を痛めている人がいる。人間の尊厳を尊重する水平社宣言の精神を改めて確認したい。我が国の人権宣言はまだ100年しか経っていない。

島崎藤村の小説「破戒」が新たに映画化されたのを観て、差別される側の苦しみを考える機会になった。さらに、住江すゑの「被差別部落問題」を扱った小説「橋のない川」が七巻で未完である。奈良県の田原本町の生まれで、近くの御所市には

「水平社博物館」があり、以前見学する機会があった。「九十歳の人間宣言」(岩波ブックレットNo.272)は彼女が武道館で講演を行ったもので、多くの人に読んでもらいたい。



《50周年》

★高松塚古墳壁画が発見されたのは、1972年3月21日であった。50周年を記念してセミナーなどが開催された。発掘に当たった、当時関西大学の大学院生だった方から直接話を聞く機会を得た。朝日新聞が初めて一面カラー印刷で、特ダネ報道となった。「銅鏡が外の空気にふれて、一時間もしないうちカビが発生した」「発掘の2週間後、推理作家の松本清張を現地で案内した」との話である。1300年の時を超えて目覚めた鏡がカビに即座に侵される「歴史」がもつ神秘性、松本清張がどのような歴史観をもって、文章を残しているか興味があった。1972年6月「世界」(岩波書店)を読みたくて、図書館で手配をしていただき、現物からコピーすることができた。雑誌は紙が50年の歳月で弱くなっていた。今は電子媒体で歴史を保管する技術が進んで、未来に役立てることができる。この頃は「処分しました」と平気で「歴史」の証拠、財産が消えてしまう…。



★東京障害者職業センター

東京障害者職業センターは、1972年3月16日に、ハローワーク上野の庁舎の中に設置された。

ハローワークの障害者部門をはじめ職業安定行政を支援する趣旨で全国初の設置となった。

1989年7月には、立川に多摩支所が設置され、地域の関係機関との連携強化がはかられている。当時と

今日の役割はかなり変わってきている。創世期では、評価、判定が主たる業務だったこと、対象障害者

も76.3%が身体障害者で、脳性マヒ、聴覚障害が多かった。法律や制度労働市場の変化と精神障害、

発達障害が増加、ジョブコーチ支援の要請も多くなっている。

＜30周年＞

1992年頃知的障害者の雇用率適用の動きがあり、仕事の集約と適切な雇用管理で特例子会社制度を

活用しての雇用がされ始めた。当時は全国的に見ても50社程度であったが現在は600社に近くなっている。

富士電機株式会社の特例子会社《株式会社富士電機フロンティア》が準備時から30年になる。

当初、障害者は10名程度であったが、現在は180名を超えて全国の工場内にブランチが稼働している。

30年の企業のご苦労と(社会福祉法人)電機神奈川福祉センター、NPO雇用部会との連携で、教育委員会

と連携した教員の現場実習やグループホームの設立など、企業から教育、福祉へ発信し続けてきた結果

ではないか。

＜10周年＞

10月10日、10周年「私たちが主役だ!」としてフォーラムが開催された。奈良県立医科大学人事課障害者

雇用推進係の係員が主役だ。奈良医科大学病院で働く障害者の人たちとの交流は、数年前からで、今回も

現地で参加した。2011年には障害者雇用不足数8名であったが5年で雇用率達成して、コロナ禍で、病院から

信頼され患者さんに喜ばれている。岡山係長は『10年を振り返ると「信頼」と「感謝」です』と言っている。

イベント紹介 | 奈良県立医科大学

(文責 加納)



<https://www.naramed-u.ac.jp/university/kanrenshisetsu/syougaisyakoyou/event.html>

えぬびーおーほうじん

NPO法人 チャレンジドステーションクジラ 賛助会

さんじょかい

日頃より、NPO法人 チャレンジドステーションクジラ
賛助会へのご協力を有難うございます。今後一層の
努力をして参ります。引き続きよろしくお願い致します。

★賛助会は随時受け付けております

年会費：1口 2,000円
連絡先：042(569)6433
振込先：青梅信用金庫昭島支店
店番・口座 015 (普通) 0711599
口座名：特定非営利活動法人チャレンジド
ステーションクジラ 理事 東條芳男



最低賃金上がりました

令和4年10月1日から、東京都では現行の最低賃金額1,041円を 31円引
上げ(引上げ率2.98%)、**1,072円**に改正しました。

社会保険の加入条件が変わりました

社会保険加入 条件変更のお知らせです。以前は501名以上の企業が対象でしたが、
2022年10月より従業員数が101名以上の企業に加入 条件が変更になりました。2024年10月か
らは51人以上の企業が対象になります。社会保険に加入すると、保険料の負担額が増える場合
もありますが、下記のように保証が充実します。

【年金の場合】厚生年金の支払い分が上乗せになります。

【医療保証】病気やケガをした時、出産、育児休暇の時など保証の対象になります。

【加入条件】☐ 1週間の働く時間の合計が20時間以上になる☐ 月額賃金が8万8千円以上になる

☐ 働く期間が2ヶ月を超える見込みがある☐ 学生ではない

「社会保険適用拡大特設サイト」で検索できます。詳細は当センターへご相談ください



障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法

令和4年5月25日に公布・施行されました。

「障害の程度に応じて、さまざまな情報をすぐに、そして十分に得られるように環境を整えましょう」と
いう法律です。(障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律より)

自分たちの周りのアクセシビリティとは (NHKみんなの選挙より)

例えば「介助をお願いすること」と「代理投票をお願いすること」ができます。

●「(選挙会場などの)慣れない場所に行くということがまず大変だ」

→介助をする人といっしょに入ることができます。係の人に、付きそいや手助けを頼むこともできます。

●「自分で投票用紙に書くことがむずかしい」

→係の人に代わりに書いてもらう代理投票という方法があります。



参考サイト 障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策の推進 - 内閣府 (cao.go.jp)
知的障害のある方の投票について解説 みんなの選挙 障害者が投票に参加しやすく NHK
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/minnanosenkyo/index.html>